



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

94.1.7 No.3923

## ダイヤ改行に伴う諸問題で団交

# 不誠実な団交に終始

すでにその一部を「日刊」で報告したとおり、ダイヤ改行に伴って作業が変わっていたことが現場に全く知らされていなかったり、信じられないようなミスが多発発覚したり、ダイヤ改行後、様々な問題が続出している。

例えば、京葉運輸区では次のようなことが起きている。B二の蘇我泊の行路だが、明けの乗り出し前の点呼は、蘇我駅で対面点呼を行なうように定められている。しかし、新ダイヤになつて乗務員が行つてみると、点呼の時間には、蘇我駅はまだ寝ているのである。蘇我駅のシ

ヤッターが開いたのは、二〇分もたつてからなのだ。とても信じられないようなミスである。同じようなことは亀山駅でも起きていた。ダイヤ改行前に組合の側から指摘して、何とか対策はとられたが(しかしダイヤ改行日には間に合わなかった)、早朝四時すぎに分割・併合作業が発生するにもかかわらず、その時間にはまだ寝ており、真っ暗ななかで作業を行なわざるを得ないところだったのである。こんなことまで、組合に指摘されて初めて気が付く有様なのだ。

### 一体どうなるのか?!

ダイヤ改行に伴う諸問題について、十二月二十八日、団体交渉が行なわれた。しかし、千葉支社の回答は、何故このようなことが多発しているのかを事例毎

に具体的に質すと回答できなくなつてしまつたり、今後どのような対策を講ずる考えであるのかが一切明らかにされないなど、全く不誠実なものであった。

## 〔主な交渉経緯〕

### 携帯時刻表

### 記載ミスの効発について

当 携帯時刻表については、運

転時刻、着発線、編成面数は支社で入力しており、現場での照合はしていない。車掌省

略等記事欄、乗務員運用に關

しては現場での登録になり、これをミックスして携帯時刻表がでてくることになる。

組 作業の流れとしてはわかる

が、聞いていることは、何処に問題があつてミスがひん発しているのかということだ。

当 輸送総合システムの在り方、チェック体制等、組織的な問題があるとしたか考えられない

組 問題があるとかないとか言うよりも、一部に記載ミスがあつたことは事実であり、今後ちゃんとした時刻表を作るよう努力したい。

組 何処に問題があつたのかはつきりさせられなければ、同じことが繰り返されかねない。きつちりと問題点を解明し、明らかにすべきだ。

当 だからちゃんとした時刻表をつくらなければならぬことは認識している。

組 運転士にとつてはカードだけがたよりだ。それが間違つていてはたまらない。時刻表には二つも印がおしてある。しかし現場の助役は、システムになつていたので、確認する必要はないと言われている

と云つている。一体何のため確認印が捺されているのか

当 ちゃんとしたカードを作ることが重要との認識はもっている。現場でのチェックの強化等対策はとつている。

組 これは、安全をどう確保していくのか、という問題だ。業務の仕組みが壊れてしまつている。そこから直していかないと全体的にきちんとならない。現場でのチェック強化などと言うが、照合する必要はないというシステムを作

つたのは会社ではないか。

当 関係箇所が集まつて腹合わせをし、問題点を抽出し、連絡を徹底し合い、実施していることは間違いない。支社入力のもの、現場で照合しているものではシステム導入の意味がないのでやっていない。

組 同じ回答を繰り返されても議論は進まない。聞いているのは、何処に問題があり、責任があり、今後どう対処していくのか、と言うことだ。実際今回の申し入れであげた例でも支社入力のものにミスが起きている。現場でのチェック強化では対策にならない。

当 システムの基本的な話しをしたが、作業の仕組みとしてこのような事が起きているとすれば、変えていかなければならぬと思つている。しかし今回の三件は、それぞれミス発生の理由が異なる。B二〇の列車防護員の省略は、現場で運転報から抜粋すべきものもあれば、記載がぬけた。B一四五は、システム入力時に特殊な扱いをしたのでこ

うなつた。通常はロックがあつて、同時に二つの作業はできないようになってきているが、ダイヤ改で作業がふくそうしていったため、ロックを解除し、同時に二つの作業をしたためにミスが起きた。

B五七は、直前になつて変更になつたために、指令手配が間違つていた。

ウチアヘウチアヘ

組 結局どれもチェック体制に問題があったということだ。

また、ロックを解除するなど無理な作業の在り方から起きている。ロックの解除など、やってはならない取扱いが行なわれているのではないのか。

組 ロックを解除するときにはそれだけに注意して扱っている。

組 B五七は、指令手配の間違いと云うが、運転士への伝達はどうなっていたのか。

組 運転士には結局伝達していなかったようです。

組 「ようです」では済まされない。伝達されていたのか、いなかったのか、伝達されなかったとしたら何故なのか。

組 ……(電話で確認)今調べているので待ってほしい。

組 これは、たんに指令手配の間違いということではないのではありませんか。時刻表には、千葉駅着線と発線が違う番線が記載されているではないか。

# ダイヤ改移に伴う作業変更 についての教育の在り方について

組 千葉運転区では、分割方法の変更、点呼方法の変更等、十三項目にもなる「留意点」が、掲示と印刷物だけで済まされている。十一月の定例訓練は現車訓練であり、この月に必ずやらなければならぬ性格のものではなかった。

何故定例訓練等で教育・周知徹底をはからないのか。

組 ……(電話で確認)今調べているので待ってほしい。

当 (時刻表のコピーを見て) ああ、そうですね。

組 この場で「ああ、そうですね」では、一体何を検討してきたのか。

先ほど問い合せていた電話がかかってくる。

組 指摘のとおり、結果としては乗務員には指示がなかったということですね。

組 議論をしても、起きてくる事実に対して、誰が責任をとり、今後どう対処するのかが一切回答されない。一体どう考えているのか。

組 責任ということであれば、会社の責任において何処に問題点があったのかをきっちり整理して対処していくべきだ。

組 本来ならば、本日の団交で具体的にこう対処するという回答が行なわれてしかるべきだ。何も検討しないまま団交に臨んだとしか考えられない

要なものがあるが、千葉運転区の場合は、点呼、掲示、資料配布で充分と判断した。

組 十三項目にもなる項目を時間も点呼でどう徹底するのか。また、資料配布と言っても、ただ積み置いてあるだけで、未だ知らない者が多くいるのが現状だ。

組 今回は掲示・点呼で充分と

判断した。

組 木更津の分割方法の変更など、事故につながる問題だ。それが掲示・点呼で充分という甘い考え方自身が問題だ。

# 団交回答を反故にし分割方法が一方的に変更された問題について

組 十一月十一日の団交では、特に変更はないが、再度確認すると回答した。その後連絡が遅くなったが、二五日に、問い合わせに対して変更になる旨回答している。

組 それは経過が違う。十一日の団交で、変わるという話があるがどうかと聞いたことに對し、その場では「変わる」という話しは聞いていないが、「…」と回答したうえで、電話で問い合わせを行い、「変更はありません」とはっきりと答えている。また、何故変更されたのかについては未だ一切説明もされていないのが現状だ。勤務課長は、その日の団交に参加しているのだから、経過は知っているはずだ。

組 (車務課長) 私は、再度確認すると回答したと報告を受けている。何故変わったかだが、木更津駅の作業変更に伴い、二名必要だった合図担当者を一にしたいということを検討した結果、分割方法を

組 バックで分割するということ自体問題があるが、早い段階でわかっていたはずだ。

ダイヤ改を予定しながら、何故十一月に現車訓練の予定など組むのか、予めダイヤ改に伴う変更点の訓練を予定すべきだ。これは、業務や安全に

に対する基本的な姿勢の問題だ

組 周知のしかたに問題があるとしたら、受けとめて今後の訓練の在り方などに生かしていきたい。

組 安全に係わる判断も必要な重要な作業の変更が、現場間だけで行なわれるはずがない。もし、それが事実だとしたらそれ自身重大な問題だ。支社のいうような経過としたら、判断は、いつの段階で誰が下したのか、また、支社が知ったのはいつなのか。

組 ……

組 こんな状態だから、千葉駅終着列車のパンの取扱いが変更されていても現場には連絡が全く行っていないか、乗務員宿泊所が未だ工事中で使えなかったり、千葉運転区のように、蘇我泊の運転士が朝起きて、対面点呼に定められている蘇我駅に行く、駅側はまだ起床していないなどという、信じられないようなミスが起きるのだ。

組 京葉運輸区のことについては聞いています。今のところ出

区点検を行なった後ならば起床しているの対面点呼を行なうよう、指示している。

組 そんなことが通用するのかわからない。回答を聞いていても、様々発生している問題について、今後どう対処していくのか、何ひとつ具体性のある回答が聞かれない。真剣に考えているとは思えない。問題は、この申で提起したことばかりではなく、ダイヤ改交渉の過程でも木更津支区の問題などひん発し、トップ交渉を開催せよ、という話にまでなった。会社側はこれを拒否し、関係課長が団交に出て整理するということ、色々問題はあったが、ダイヤ改移行日までには完全なものにすればいい」といわば喉をきった。しかし、実際蓋を開けて見たらこの有様だ。しかも本日の団交も、誠実に回答しているとは到底思えない。今日のところはこれ以上議論してもはじまらない。申の趣旨を再度真剣に検討すべきだ。その上で引き続き議論をしたい。